

アンケートについて(まとめ)

1. 県内中・高剣道人口の推移

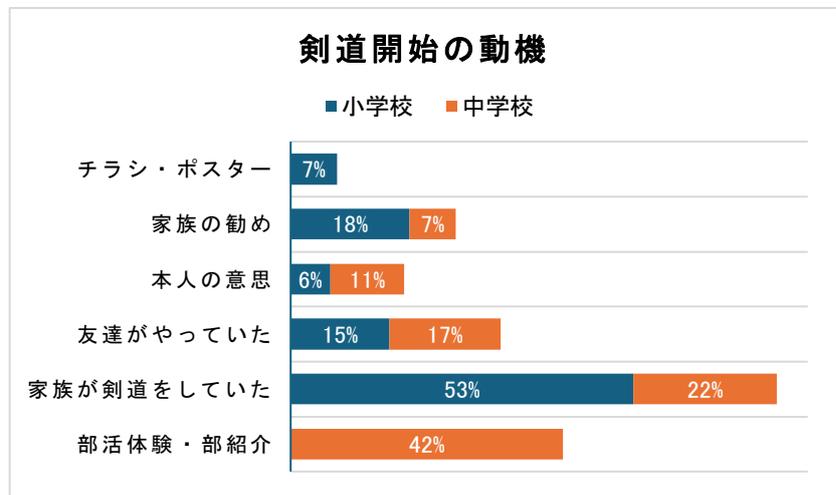
中学校は、この10年間に全体として減少傾向(約25%)であり、西部の減少幅が大きいこと(約30%減少)、さらに女子の減少幅が大きいことがわかる。高校ではコロナ禍の時期に大幅に減少したが、回復傾向にある。

2. 剣道開始時期

中学生は、回答者の6割以上(144/237)が中学校で始めていて、特に西部地区が突出して多い。女子は小学校入学前が多い。高校生は、小学校低学年から開始が最も多く、男子は小学校中学年、次に低学年、女子は小学校低学年と中学校から始める割合が多い。

3. 剣道を始めたきっかけ

中学生・高校生ともに、小学校入学前・小学校時代に剣道を始めた生徒達は、「家族の勧め」や「家族(親・兄弟)が剣道をしていた」と「友達がやっていた」という回答が多く、生徒の周辺に剣道に近い環境が見える。中学校から始めた生徒では、「部活体験・部紹介」が最も多く、そのほかには家族や友人の存在がある。



4. 剣道継続の意思や希望

中学生では、全体の約61%で続けたいという回答、また継続についてまったく分からないという回答が全体の24%もあった。高校生では40%の継続希望、男女比は男子が女子のおよそ2倍となっている。継続がまったくわからないと答えているのは、全体の20%であった。中学生・高校生ともに継続を希望する生徒たちの回答に、剣道が「楽しい」「強くなりたい」という回答が多くみられた。

【今後の課題】

- ① 少年世代では広く剣道を知ってもらい、触れてもらう機会を増やすこと。
- ② 中学校の部活体験・紹介の充実。
- ③ 地域展開に対する対策。
- ④ 剣道をより多くの生徒達が継続する環境づくり。

今回の中・高校生のアンケートで明らかになった課題の解決を含め、より多くの中高生が剣道に親しみ、継続して鳥取県の剣道の未来を担ってくれる環境を創出したいと思います。

そして、剣道人口増加に向けた新たな一步を踏み出し、皆で力を合わせて鳥取県剣道の普及・発展を実現するための特別委員会を設置し、子どもから高齢者まで広く剣道に親しめるようにしたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。